

Printalk

特集 | THE 永久保存版

いざ、備活! ~もしもに備えて役立つ活用を~ 企業版『防災マニュアル・ポータブル』

連載 | マルワアカデミー

いきもの天白紀行 天白・川辺の楽校





- ✓ **地震と火災を想定した防災訓練は、毎年やってるよ！**
緊急事態は、地震や火災だけではなく。
豪雨や台風、通勤中・外出中の災害、パンデミック（感染症）、サイバー攻撃などが起きた場合でも、みんながパニックにならずに対応できますか？被害拡大を抑えられますか？
- ✓ **避難はしご・消火器？まあ、そこら辺にあるでしょ！**
「普段からみんな目にしているから知っているでしょ……たぶん」って、一刻を争う緊急事態の時に、そんな悠長なことは言っていられないはず。どこに何があるのか、みんなわかっていますか？
- ✓ **なにかあったら社長が指示してくれるから大丈夫！**
中小企業あるあるの、「困った時は全部社長」または「わかる人はAさん（※特定の人）しかない」問題。当然、社長不在やAさんはお休み、なんてこともあります。特定の人が不在でも対応できるように、知識を共有できていますか？
- ✓ **防災マニュアルもデジタル化！社内サーバーで共有してるから大丈夫！**
災害時には通信障害や停電により、PC、スマホ、サーバー、クラウドなどが使えない場合があります。デジタルデータや端末が使えない場合でも、必要な情報を利用できるようになっていますか？
- ✓ **防災備蓄品のストックはあるから安心！**
防災用に非常食と飲料水をストックしていたけど、気が付いたら賞味期限がとっくに過ぎてる……。なんてことも「あるある」です。定期的に備蓄品をチェックする仕組み（ルール）や担当者は決まっていますか？
- ✓ **会社が停電！ネットも使えない！なら自宅でやればなんとかなる！**
業務用のPCやスマホ、データなどを自宅に持ち帰ることには情報漏えいのリスクがあります。社員の独断で持ち帰ってしまう、どんなデータ・書類でも自由に持ち出せる、という状態は特に危険です。セキュリティに配慮した持ち出しルールは決まっていますか？みんな理解していますか？
- ✓ **何かあったら会社に電話！誰がいるでしょ！**
災害時には電話が繋がらないこともあります。また、会社に誰も出社できないこともあり得ます。緊急時の連絡手段を決めていますか？連絡手段は複数用意されていますか？

↑ぜ～んぶ、防災マニュアルで備えましょう！

そなかつ いざ、**備活！** ～もしもに備えて役立つ活用を～

企業版

『防災マニュアル・ポータブル』

マルワは2007年から事業継続計画（＝BCP）を策定し、緊急時にも事業が続けられるよう努めています。今回は、印刷会社であり、「事業継続力強化計画」認定企業でもあるマルワがつくったポータブルな防災マニュアル『緊急時初期対応ハンドブック』をご紹介します！

原寸大

そなかつ 備活！

MUDで見やすい
メディア・ユニバーサルデザインの知識を取り入れたデザイン。
見やすい・わかりやすいフォントと色使い。

サンプル

**緊急時
初期対応ハンドブック**
(2026 版)

地震

火災

豪雨・台風

感染症

サイバー攻撃

このハンドブックは、デスク・鞆の中など
取り出しやすい場所に常に保管し、
必要なときに参照できるようにしてください。

株式会社マルワ

初版：2026.4発行

そなかつ 備活！

マルワによるマルワのためのマニュアル
避難経路の地図つき。
とにかくマルワナイズされたマニュアルである。

そなかつ 備活！

ポータブル
A6サイズで持ち歩ける。
※胸ポケットにも入る

そなかつ 備活！

**パッと見て
サッと動ける**
必要なことが端的に書いてあり、
パニックになったときにも頼りになる！

そなかつ 備活！

様々な緊急事態を想定
天災だけでなく、サイバー攻撃、
感染症パンデミックも想定。

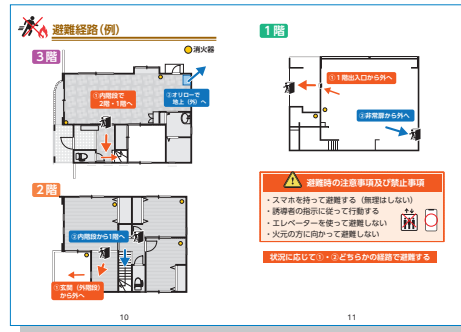


いろいろ聞いて
みました！

作っておしまい、配っておしまい、にしないことは強く意識しています。せっかく作るからには、ちゃんと活用できないもったいないですから。

なので、配布する際に「**BCP**」について**の勉強会（研修）を実施**して、なぜこのハンドブックや事業継続計画書が重要なのかの理解を促しつつ、最低一回はその場で全員に目を通してもらうようにしています。

また、ハンドブックで避難経路を確認しながら実際に避難したり、緊急連絡の訓練をしたりする、といった運用も考えています。



- 目的を決める（何のために作るの？）
- 内容を決める（何を知ってほしいの？）
- サイズ・ページ数などの仕様を決める（携帯できる？）
- 作成→対象全員に配布する
- 勉強会・訓練を実施する（ちゃんと機能する？）
- 定期的に見直す（最新の情報になってる？）

※見直し（修正）後、再度配布→勉強会・訓練→見直し
を繰り返す（定期的にチェック！）

また、**定期的に内容を見直す機会を設けることも重要**です。

当社では、担当者を決めて、最低でも年に一回は見直しを行うようにしています。これはハンドブックだけでなく、事業継続計画書も同じです。

また、ハンドブックや事業継続計画書を見直すタイミングで、社内の備蓄品の点検も実施するようにもしています。そうすることで、定期的に、かつ忘れずに、備蓄品の賞味期限切れのチェックを実施することができまます。

2026年、マルワは事業継続計画書とは別に、
「携帯用防災マニュアル（緊急時初期対応ハンドブック）」を作成しました。

なぜ、事業継続計画書が既にあるのに、わざわざ携帯用防災マニュアルを作ったのか？
 どんなことを意識して作ったのか？

マルワの「緊急時初期対応ハンドブック」の考案者（制作者）であるHさんに聞いてみました！みなさまの会社で作成する際の参考になるかも??



なぜ、このハンドブックを作ろうと思ったのですか？

当社では、約二十年前から、事業継続計画書（ＢＣＰ）を作成しています。以前は、改訂のたびに全社員分印刷して配布していました。

しかし、コスト削減と、そもそも紙で配布しても引き出しのどこかにしまったまま……ということが多く、ここ数年は、データ化したものを社内の共有フォルダにアップするようにして、紙での配布はやめていました。

しかし、災害はいつ、どこで起きるかわかりません。災害が起きた場合には、停電や通信障害が発生して、共有フォルダにある事業継続計画書を見ることができない可能性もあります。

そうになると、やはり以前のように印刷して配布して……というほうが有効かな、と思う一方で、事業継続計画書（A4サイズの冊子）を常に携帯する人はいないだろう、ということで、**携帯しやすいサイズ感で、かつ、「何かが起きた時に、最低限確認したいことがまとまっているもの」として、事業継続計画書とは別にこのハンドブック（防災マニュアル・ポータブル）を作ることになりました。**

これからつくってみよう、
という方に何かアドバイスは
ありますか？

正直、最初はかなりめんどうです（笑）。中小企業では、どうしても「〇〇さんお願いね!」と任されて、ひとりで抱え込む……なんてこともありがちですが、できればチームを組んで、または、周りの人を巻き込んで、作成していくとよいと思います。内容や運用方法などについても、できるだけ多くの人の意見を聞いて決めていくと、より良いものが作れるのではないのでしょうか。

あとは、目的を忘れないことも大切ですね！

ハンドブックや事業継続計画書を作る

ことが目的ではないですよね？緊急時にパニックにならないこと、被害を拡大させないこと、出来る範囲で事業を継続させる、またできるだけ早期に復旧させること、などが目的になるはずです。

そのために、どんな内容にすればいいか、という視点で作っていくとよいのではないだろうか。

なんて言っていますが、当社も作ったばかりで、まだまだ改善の余地はあります(汗)。逆にこんなものを作っているよ、とか、こうやって運用しているよ、などアドバイスを頂けると幸いです！

どんなことを意識して
作りましたか？

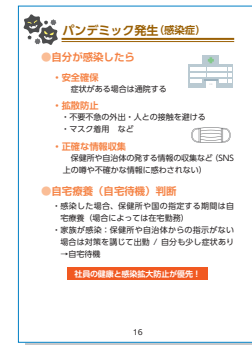
いざというときに、「パッと見て、サッとわかる」「そして、「迷わない」ことを最優先にするため、

- ① 箇条書きで簡潔にまとめる
- ② 図やイラストを交える
- ③ 直感的に理解できる構成にする

という三点を特に意識しました。



あとは、地震や火災などの災害以外にも「緊急事態」は起こり得るので、サイバー攻撃を受けた時や、数年前の新型コロナウイルスのような感染症の拡大時も想定した内容にしています。



緊急時に使える
ハンドブックを

防災マニュアルは、作ることが目的ではなく、「緊急時に現場で使えること」が重要です。私たちは、編集・デザイン・情報整理のノウハウを活かし、わかりやすく、行動につながる防災ツールを提案します。

まずはお気軽にご相談ください。

●企画・コンサルティングを含むフルプランから、既存の防災マニュアルの社名のみ変えるお手軽プランまで、対応可能です。

詳しくは
w



オリジナル
避難経路図制作
も承ります！



マルワは「**あいち生物多様性企業認証**」の認証企業です。
近隣地域の生物・自然環境に関する記事を連載でお届けします。

いきもの天白紀行

Creature Tenpaku Journey

天白・川辺の楽校



▲ 天白・川辺の楽校の皆さん



天白・もりのフォーラム

当社のある名古屋市天白区を流れる天白川は、都市部にありながら豊かな自然環境を有しています。この天白川を活動拠点とし、天白区と協働※で、川と人との共生を実践されている市民活動グループ天白・川辺の楽校取材しました。

※天白・川辺の楽校は、天白区など関係行政機関が連携する「天白・もりのフォーラム（天白区の自然をフィールドに活動している団体）」に所属。区との協働にて、「天白・自然とふれあい隊」のイベントなどを開催している。

▲ 天白小橋付近から望む天白川。
下流21・5kmの区間が二級河川に指定されている。



「天白・自然とふれあい隊」のイベントですね。川下りやいきもの観察、捕まえたいきものの鑑定ブースもあるとのこと、とても楽しそうです！

毎年大人気で、参加は抽選になっています。（注 2026年の募集は終了しています。）

天白川は、水質も綺麗ですし、イベント開催場所は、流れがゆるやかで浅瀬もあり、比較的安全に川遊びができます。

毎回、今までタモなんか持ったことのないご家族が参加されて、最終的に夢中になっていきものを捕まえている姿が印象的です。お母さんが一番真剣になってたりして…。笑



▲「川の生き物を観察しよう」イベントの様子



まさに、子ども（だけではなく大人も）の笑顔が見える川づくりですね。

ええ。喜んでもらえると整備もやりがいがあります。イベントに備えて何度も草刈りをしていますが、大変なんですけれど、今日（取材の日・5月末）も草刈り中にお邪魔してしまつて恐縮です。草刈りは、何度もある必要があるんですね。

そう、こまめにやらないと大変なことになります！

ちなみに、整備は草刈りだけではないですよ。この細い支流は私たちが掘りました。

えっ？？！ほ、掘ったんですか？！

元々支流があったのですが、埋まつてしまつたんです。丸1年かけて、シャベルで掘って支流を復活させました。



▲ 復活させた支流

それはそれは、大変そうですね！でも、支流があると、いきもの観察もしやすいですね。



▲ 取材に同行した息子とマルワの昆虫王。皆さんが掘った支流で通称ガサガサ（タモをもって川パリのいきものを探す行為）中。

少しの時間探ただけで、いろいろないきものが発見できました。天白川の自然が豊かなことがわかります。

そうですね。カワセミもいるんですよ。他にもサギをはじめとした鳥類がたくさん見られますが、それはつまりエサとなる小魚が豊富ということですね。

魚といえば、2019年に天白川でアユが確認されたんです。今は、水害防止のために堰（せき）がつくられ、遡上が難しくなつてしまひ、こちら辺では見かけなくなつてしまつたようですが、アユ！見たかったです。

人の暮らしの安全と環境保全、バランスを取りながら貴重な天白川の自然を保つとよいですね。

最後に読者の皆さんへのメッセージをお願いします。

私たちが子どもの頃は、川遊びは日常の遊びのひとつでした。今は、川遊び用に整備された場所で体験する、非日常の遊びに変わつてきてしまひました。

私たち天白・川辺の楽校は、できる限り、川とふれあう楽しさ、川遊びの楽しさを次世代に継承したいという思いで活動しています。

…が、最近メンバーも高齢化が進んでいます。ぜひ、参加してください方、ご興味のある方がいらつしゃいましたら、ご連絡ください！

天白・川辺の楽校 活動メンバー募集中！

- 川に興味のある方
 - 土日に活動可能な方
 - 体力に自信のある方、草刈りダイエツトしたい方
- （※現メンバーの多くが平日は働いています）



連絡先：tenpaku.kawabe@gmail.com



▲ ハグロトンボのヤゴと思われる。



▲ ハグロトンボ（参考画像）。別名 神様トンボとも言われ、縁起のよい虫とされている。自然豊かな地域に生息する、割と珍しいトンボのため、天白川で見かけたとき筆者はびっくりした。



▲ 今回捕獲したいきもの。ヤゴやエビ、小魚も。観察後、川へ。



▲ イトトンボ。体色がとても綺麗。



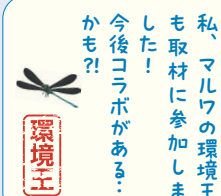
▲ 大変暑い中、作業の手をとめてこころよく取材にお応えいただきました。ありがとうございました。

2026年4月～6月の『環境王』

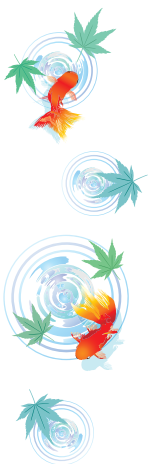
ツバメの子育て支援にご協力を！
「ばりんトークゼミ」
ご観覧ください！
今年もやります！
市内一斉緑化活動
2026



『環境王』とは…マルワYouTubeチャンネル内のシリーズの1つです。マルワの日常を『環境をテーマ』に切り抜きで皆さまにお届けするコーナーです！動画のご視聴&チャンネル登録よろしくお願いします！



今月のもうひとほり



気がつけば今年も半年が過ぎましたね。季節が過ぎるのは本当に早いものだと感じてしまいます。7月に入り恒例のぷりんトーク夏号を発刊する運びとなりました。今号も皆様が楽しみながら読んでいただけるよう紙面づくりをいたしました。

さて、暑い日が続くようになると、「今年も台風の季節が近づいてきたな」と感じる方も多いのではないのでしょうか。

ついこの前の6月には台風6号がきて、太平洋沿岸地域で被害がでました。毎年のようにやってくる台風であるのに「まだ大丈夫だろう」と思っているうちに接近し、慌てて準備を始めることも少なくありません。また最近、全国各地で地震も多いですね。頻繁に地震情報

が流れてくる毎日…。日本は地震大国であり、いつどこで起こってもおかしくありません。

ということで、今回は災害時に役立つ「緊急時初期対応ハンドブック」を紹介させていただきました。

ふと考えてみると、「そういえば最近確認していなかったな」というものが意外とあるかもしれません。「何も起きないこと」を願いながらも、「もしもの時」の準備を大切にしたいと考えています。

災害発生時に従業員の安全を確保し、事業への影響を最小限に抑えるためには、日頃からの防災対策と事業継続計画の整備が欠かせません。

台風や地震への備えということ大げさに聞こえるかもしれませんが

んが、実際には難しいことではなく、避難経路や連絡方法などを話し合っておくことも立派な備えです。

今年の夏も暑い日が続きます。何も無いことを願いつつのんびりとした夏を過ごしたいものです。

▲夏の伊勢湾



What's been up? 2026.4 ~ こんなことがありました。

2026年 4月

へきしんサステナビリティ・リンク・ローン成約企業向けの記念盾贈呈式に出席しました

愛知県経営者協会にマルワのBCPの取り組みが紹介されました

愛知県印刷工業組合主催の新人研修にて講義をしました(5S活動・改善活動の基本、印刷工場の仕事、企画提案とプレゼンテーション)①

5月

BCP(事業継続計画)の縮刷版として「緊急時初期対応ハンドブック」を作成しました

愛知県印刷工業組合主催の新人研修にて講義をしました(メディア・ユニバーサルデザイン)②

ZINEフェス東京に出展しました③

ZINE「紙知郎(かみしろう)さん&紙見本(かみみほん)ちゃん」販売開始④

6月

愛知工業大学で講義をしました



ISO14001
ISO27001認証取得